

三党実務者協議関係資料

- 三党実務者協議(平成 25 年 3 月 13 日・3 月 22 日)
配布資料

年金制度の課題

下記の課題を解決するための公的年金制度改革の内容等については、3 党間で合意に向けて協議する。

1. 雇用形態の多様化（働き方の変化）と未納・未加入問題

- すべての国民の多様なライフスタイルに対応できる公的年金制度の実現
- 全国民が定額又は所得に比例した保険料を拠出する公的年金制度の確立
- 国民年金の被保険者の性格の変化
（国民年金が自営業の年金から、非正規雇用者が多く加入する年金に）
- 年金保険料の徴収体制強化等（歳入庁その他の方策の有効性、課題等を幅広い観点から検討）

2. 低年金・無年金者の増加

- 低年金・無年金者の減少に向けた対応
→最低保障機能の在り方

3. マクロ経済変動と年金財政の整合など持続可能性に係る諸課題

4. 現行制度に対する国民の不安、不信

- 3号被保険者の在り方

年金制度の課題

下記の課題を解決するための公的年金制度改革の内容等については、3党間で3月中の合意に向けて協議する。

1. 雇用形態の多様化（働き方の変化）と未納・未加入問題

○すべての国民の多様なライフスタイルに対応できる公的年金制度の実現

○全国民が所得に応じた保険料を拠出する公的年金制度の確立

○国民年金の不安定年金化＝働き方の変化に対応せず

（「国民年金＝定額保険料」と「被用者年金＝比例保険料」との分断。国民年金が自営業の年金でなくなり、国民年金が非正規雇用不安定年金に）

○徴収体制が脆弱（歳入庁その他の方策の有効性、課題等を幅広い観点から検討し、実施すること）

2. 低年金・無年金者の増加

○税金と保険料の役割分担の明確化
（受給額の格差）

○低年金・無年金者の減少を年金制度内でも実現＝生活保護高齢化の流れを抑制
→最低保障機能（ゼロ保険料）の必要性

3. マクロ経済変動と年金財政の整合など持続可能性に係る諸課題

税投入の哲学・ルールの確立と国民的合意

4. 現行制度に対する国民の不安、不信

3号被保険者の公平性